

## 学長裁量分の予算及び人員、配分方法、配分対象

(1) 学長裁量経費（学長裁量分の予算）

予 算 額： 49 百万円

配分方法： 全学的な視点から教育研究の活性化や大学運営の改善等を図るため、学長の判断により必要な経費を適宜配分。

配分対象： 下記のとおり。

配 分 対 象 事 項	予 算 配 分 額	備 考
教育研究活性化	1 3 百万円	学校現場・地域との交流拠点の整備、大学教員への競争的教育研究資金の配分、海外の大学との交流促進等
教育研究環境等充実	2 0 百万円	大学院生研究室及び講義棟等学生掲示板の整備、講義演習室の改修・整備、AED（自動体外式除細動器）の設置等
副学長等の裁量経費	4 百万円	授業充実のためのティーチングサポーターの雇用、萌芽的研究プロジェクトの支援等
特別事業	1 百万円	全学対象講演会の実施、韓国教員大学校の大学院制度に関する調査等
その他の事項	1 1 百万円	アスベスト調査、小・中学校指導書の整備等

(2) 学長裁量の配置人員

**学長裁量分の人数 13 人**

- ・ 教員人事は、学長一括管理である。
- ・ 各講座等へ配置している員数のうち、大学院の設置基準等を参考にして学内で合意されている基準人数を上回る分の人数のうち、平成17年度は13人配置した。

**人員の配置方法**

- ・ 学長は、全学的な視野に立ち、必要な教員を配置。
- ・ その際、学長は、教育研究評議会へ教員選考を発議し決定。



## 学長裁量分以外の戦略的経費の総額、配分方法、配分対象

(1) 戦略的経費の予算総額：2億26百万円（前年度対比 15百万円、7.1%増）

- 重点施策経費 2億2百万円
  - 内訳 ①教育研究改善等経費 47百万円
  - ②教育改革経費 87百万円
  - ③特別設備経費 60百万円
  - ④施設改修等経費 8百万円

○研究プロジェクト経費 15百万円

○競争的教育研究資金 9百万円（学長裁量経費を除く）

(2) 戦略的経費の配分方法、配分対象

○重点施策経費 2億2百万円

本学の当面の課題である大学院の定員充足に向けた取り組みや年度計画に基づく事業を円滑に実施するための経費として、予算を重点的に計上し、事業内容等は、トップミーティング（学長、学内理事、副学長及び事務局部長で構成）において検討し、学長が配分を決定。

① 教育研究改善等経費 47百万円

配分対象事項	予算配分額	備考
学生定員充足のための大学広報活動	16百万円	教育委員会・私立大学訪問PR、専門誌・受験雑誌等広告掲載、広報用パンフレット・リーフレット作成等
学生支援の充実・教育の改善	13百万円	教員採用試験学習支援システムデータ構築、卒業生・修了生データベース構築、授業評価実施等
学内情報化の推進	13百万円	各種情報システム運用支援業務外部委託、講義室無線LAN整備等
地域等との連携推進	5百万円	現職教員のための総合的「学校コンサルテーション」推進事業、特別支援教育支援事業等

② 教育改革経費 87百万円

「情報教育等の実践的指導力を備えた教員の養成・研修」に係る事業費  
（情報教育・遠隔教育用コンテンツの制作、附属小・中学校のコンピューター更新等）

③ 特別設備経費 60百万円

・マルチメディア語学教育システムの整備

④ 施設改修等経費 8百万円

・学生宿舎の居住環境改善

○研究プロジェクト経費 15百万円

学内公募を行い、教育実践を通じた教材開発や、地域の学校と連携し教育現場が抱えている諸問題の解決に資することを目的とした臨床的研究等を対象として、学長、副学長及び附属図書館長による審査会が、研究の内容、関連授業科目と申請内容の妥当性、研究業績等を中心に審査し、学長が配分を決定。

○競争的教育研究資金 9百万円

大学評価委員会の下に設置した資源配分基準検討WGにおいて、資源配分基準等の原案を作成し、教育研究評議会の審議を経て、学長が平成17年度の競争的教育研究資金の配分基準を決定し、同基準に基づき学内配分を実施し、教育研究評議会に配分状況を報告した。